



令和4年度 木島小学校グランドデザイン



飯山市第2次教育大綱

- I 『生き抜く力』を育むため、「自己教育力」と多様な考えに触れ課題解決する教育の実践
- II 公正で質の高い学力の保障と、将来になりたい自分のために必要な資質を磨く教育の実践
- III 国際化・ICT化とともに地球環境に対応し、自らの能力を磨く教育の実践
- IV ふるさと飯山を知り、飯山を愛し、飯山を担う「いいやまっ子」に育つ教育の実践
- V お互いを知り、助け合う心が育ち、共生社会が実現するための教育の実践
- VI 地域・社会に支えられ、子どもが飯山を誇りに思う生涯学習・生涯スポーツの実践

学校教育目標
自ら学び
豊かな心をもち
たくましく生きる児童
が育つ学校

第3次 長野県教育振興基本計画

- 「『学び』の力で未来を拓き、夢を実現する人づくり」
- I 生きる力と創造性を育む信州ならではの「学び」の実践
 - II 社会全体ですべての子どもたちが良質で多様な学びの機会を享受できる
 - III 誰もが生涯学び合い学び続け自らの人生と自分たちの社会を創造できる環境づくり



願う児童の姿

- | | | | |
|------------|--------|---------|---|
| 1 学ぶ木島っ子 | 「はきはき」 | (かしこく) | 知 |
| 2 なかよし木島っ子 | 「にこにこ」 | (やさしく) | 徳 |
| 3 きたえる木島っ子 | 「わくわく」 | (たくましく) | 体 |

【本年度の重点】
わかる 木島小学校

全校研究テーマ 「学習したことを次の学習につなげたり、実生活に生かそうとしたりする
 子どもたちの育成 ～わかる授業づくり～」

1 学ぶ

学びをつなげ、生活にいかす

- 確かな学力の定着と向上
- 振り返り
- 伝える・説明する:アウトプットの力
- 「読解力」の向上
- 自学(家庭学習ができる力)
- カリキュラム・マネジメントで学びが「つながり」「いきる」学習
- 地域を知る学習
- ICT・思考ツールの活用

学習の課題がわかり、自ら学ぶ方法がわかり、力をつけて学び続ける子ども

2 なかよし

自分を大切にし、相手を思いやる

- あいさつ
- 協働的な学習
- 人権教育
- 道徳教育
- キャリア教育
- 飯山養護学校などとの交流
- 児童会
- 縦割り活動
- 地域との交流

自分も他のどの人も大切なことがわかり、より良く行動できる子ども

3 きたえる

心・頭・体をきたえる

- 「腰骨を立てましよう」の声かけ
→「いい自分を出す:克己心」
- 基礎基本の定着(ドリル的な学習)
- 時間や方法を意識した清掃
- 健康な心身(元気もりもり・メディアコントロール力)
- 基本的な生活習慣・運動習慣
- スキーへの積極的な取り組み
- 農業・食文化体験

自分の「できる」がわかり、あきらめずに挑戦する子ども

小中連携(城南中学校区)

- ①小中高連携担当中学校教員と連携した授業(5・6年算数)
- ②飯山市第五次学力向上事業(5年次)を受けての取組
- ③学力向上を図る情報の共有
・飯山市総合学力調査の実施と分析
- ④城南中学校区人権教育連絡会での学び
- ⑤ふるさと検定(3年) 水の学習(4年) 千曲川ラフティング(5年) 副読本でのふるさと学習(6年):飯山がわかる

わかる学校づくりへの具体目標

- ①飯山市総合学力調査
(平均到達スコアで4月から12月に+2)
- ②学校評価 児童の自己評価
(「学校は楽しいですか」 A+B 評価 90%)
- ③学校評価 保護者アンケート
(「学校は、よくわかる授業を目指して取り組んでいると思いますか」 A+B評価 90%)
- ④学校評価 教師自身の自己評価
(「見とどけで終わる授業をしている」
A評価 80% A+B評価100%)

地域の教育力との連携

- ①創立136年
・木島振興委員会の支援
(地区全戸がPTA準会員)
- ②総合的な学習の時間など推進のための木島小コミュニティスクールとの連携, 人材バンクの整理・見直し
- ③ホームページ・学校だよりでの情報発信
- ④木島小スポーツクラブとの連携
- ⑤木島少年クロスカントリースキー大会等地域主催のイベントへの参加呼びかけ